

東京蜃気楼

平野 春雄

高層ビル七階の屋上に上る

忽ち東方に展ける新宿ビル街の山脈やまなみのような巨体

そこでは薄墨を流したようなビル街のシルエットが

空中に浮かんで見える

それはかつて世界の海洋に覇権を競った帝国海軍艦隊の

レリーフのようにも見えるが

沢山の算盤そろばんを立てて並べた虚像のように

またあるときは都会のスモッグの排気塔



或は都会の虚栄と汚濁をリファインする

キューポラの林立のような活気すら伝わって来る

その映像は不思議なことに

サングラスのフィルターを通すと

更に明瞭となることだ

新宿には地上四十八階二三四メートルの都庁舎が

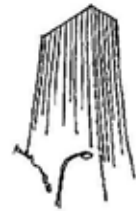
少しでも天上の神の座に近づけば

神々への陳情が届きやすいとでも謂うのか

高速エレベーターで一分間のロケットのような旅で

展望室に達する筈だ

さて本日の新宿はスモッグのため



マンモス象の巨体のように横たわる虚像である

眼を右に移動すれば 日比谷の森

丸の内のビル街が林立する

日比谷の森こそはインペリアル・サンクチュアリーだ

亡き昭和天皇への追憶のページをめくって見よう

大嘗宮の秘儀 天皇は皇后をも避け天子独り

白酒しゅうさけ 黒酒くろさけ 干棗ほしなつめを神と食らい

先帝を偲んだのだろうか

頭こぶしを返して多摩川上空地帯を見ると

同様のスモッグ様の暗雲が見え



新宿に見たものはスモッグでは無く

朝霧の様なものかも知れない

お濠の白鳥は健在か

丸の内界隈の新しい息吹

上野の森の不忍の鴨 ペンギン 象 獾

ナマケモノ達は健在だろうか

戦犯収容所（巣鴨プリズン）から轉身した

池袋サンシャインシティビルの超高層ビル六十階

と 突如 足下の街角から

生々しい豆腐屋のラッパのような

メロディーが流れて来る



マイドオサワガセ チリガミコウカン フルシンブン
フルザッシをトレットペーパーとコウカン……………
の廃品回収車の地上からのアナウンスが
ドップラーの効果で舞上って来る

遠望する東京新宿地区の市街像は

おおはまくり

江戸の大蛤の排気ガスの悪戯の層気楼

或いは真夏のアスファルトの補修道路の

「逃げ水」でもないらしいが

ぼっぼっ
茫茫として霞んでいる

